

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値（案）

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新（第8次）			旧（第7次）		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
2	畜産農業		70	70	60	70	70	60
3	天然ガス鉱業		60	60	60	60	60	60
4	非金属鉱業		20	20	20	20	20	20
5	部分肉・冷凍肉製造業又は肉加工品製造業		40	40	30	40	40	30
6	乳製品製造業 (平成8年9月1日前の特定施設に係る量)		30	30	20	30	30	20
7	畜産食料品製造業（前2項に掲げるものを除く。）	イ	50	50	30	50	50	30
		ロ	40	40	30	40	40	30
8	水産缶詰・瓶詰製造業		40	40	30	40	40	30
9	寒天製造業		55	55	55	55	55	55
10	魚肉ハム・ソーセージ製造業		30	30	20	30	30	20
11	水産練製品製造業（前項に掲げるものを除く。）		30	30	20	30	30	20
12	冷凍水産物製造業		30	30	20	30	30	20
13	冷凍水産食品製造業		40	40	30	40	40	30
14	水産食料品製造業（整理番号8の項から前項までに掲げるものを除き、魚介類塩干・塩蔵品製造業を含む。）	イ	40	40	30	40	40	30
		ロ	40	40	30	40	40	30
15	野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業		40	40	30	40	40	30
16	野菜漬物製造業		40	40	30	40	40	30
17	味そ製造業		70	70	30	70	70	30
18	しょう油・食用アミノ酸製造業		70	70	40	70	70	40
19	うま味調味料製造業		20	20	20	20	20	20
20	ソース製造業		30	30	30	30	30	30
21	食酢製造業		40	40	30	40	40	30
22	砂糖精製業		40	40	30	40	40	30
23	ぶどう糖・水あめ・異性化糖製造業		50	50	30	50	50	30
24	小麦粉製造業		30	30	30	30	30	30
25	パン製造業		30	30	20	30	30	20
26	生菓子製造業		40	40	30	40	40	30
27	ビスケット類・干菓子製造業		40	40	30	40	40	30
28	米菓製造業		40	40	40	40	40	40
29	パン・菓子製造業（整理番号25の項から前項までに掲げるものを除く。）		40	40	30	40	40	30
30	植物油脂製造業	イ	50	40	30	50	40	30
		ロ	40	40	30	40	40	30
31	動物油脂製造業		40	40	30	40	40	30
32	食用油脂加工業		40	40	30	40	40	30
33	ふくらし粉・イースト・その他の酵母剤製造業		50	50	40	50	50	40
34	穀類でんぷん製造業		50	50	40	50	50	40
35	めん類製造業		50	30	30	50	30	30
37	豆腐・油揚製造業	イ	50	30	30	50	30	30
		ロ	30	30	30	30	30	30
38	あん類製造業	イ	70	70	40	70	70	40
		ロ	60	60	40	60	60	40
39	冷凍調理食品製造業		30	20	20	30	20	20
40	そう(惣)菜製造業のうち煮豆の製造に係るもの		30	30	30	30	30	30
41	清涼飲料製造業		20	20	20	20	20	20

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値(案)

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新(第8次)			旧(第7次)		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
42	果実酒製造業		30	30	30	30	30	30
43	ビール製造業		30	30	30	30	30	30
44	清酒製造業		30	30	30	30	30	30
45	蒸留酒・混成酒製造業		30	30	20	30	30	20
46	インスタントコーヒー製造業		30	20	20	30	20	20
47	配合飼料製造業		20	20	20	20	20	20
48	単体飼料製造業		20	20	20	20	20	20
49	有機質肥料製造業		20	20	20	20	20	20
50	たばこ製造業		30	20	20	30	20	20
51	生糸製造業(副蚕糸精練業を含む。)		30	30	30	30	30	30
55	繊維工業(整理番号51の項に掲げるもの及び衣服その他の繊維製品に係るものを除く。以下同じ。)で整毛工程に係るもの		75	75	70	75	75	70
57	繊維工業で麻製織工程に係るもの		90	90	90	90	90	90
58	繊維工業で毛織物機械染色整理工程(のり抜き、精練漂白、シルケット加工その他の染色整理工程に付帯して行われる加工処理工程(以下「染色整理工程付帯加工処理工程」という。)を含む。)に係るもの		40	40	30	40	40	30
59	繊維工業で織物機械染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの(前項に掲げるものを除く。)	イ	100	80	80	100	80	80
		ロ	80	80	80	80	80	80
60	繊維工業で織物手加工染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの		90	90	90	90	90	90
61	繊維工業で綿状繊維・糸染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの		50	50	50	50	50	50
62	繊維工業でニット・レース染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの		60	50	50	60	50	50
63	繊維工業で繊維雑品染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの		100	90	80	100	90	80
64	繊維工業で不織布製造工程に係るもの		70	70	60	70	70	60
65	繊維工業でフェルト製造工程に係るもの		40	40	40	40	40	40
66	繊維工業で上塗りした織物及び防水した織物製造工程に係るもの		40	40	40	40	40	40
67	繊維工業で繊維製衛生材料製造工程に係るもの		40	40	40	40	40	40
68	繊維工業(整理番号55の項から前項に掲げるものを除く。)		30	30	30	30	30	30
69	一般製材業又は木材チップ製造業		40	40	40	40	40	40
71	A 合板製造業(集成材製造業を含む。)又はパーティクルボード製造業 B 合板製造業(集成材製造業を含む。)又はパーティクルボード製造業であって、接着機洗浄水を循環するもの		30	30	30	30	30	30
			10	10	10	10	10	10
75	木材薬品処理業		20	20	20	20	20	20
76	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で溶解パルプ製造工程に係るもの		70	70	60	70	70	60

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値（案）

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新（第8次）			旧（第7次）		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
77	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でサルファイトパルプ製造工程に係るもの		60	60	60	60	60	60
78	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でグランドパルプ製造工程、リファイナークラフトパルプ製造工程又はサーモメカニカルパルプ製造工程に係るもの		50	50	50	50	50	50
79	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で未さらしケミグランドパルプ製造工程又は未さらしセミケミカルパルプ製造工程に係るもの（次項に掲げるものを除く。）		70	70	70	70	70	70
80	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でさらしケミグランドパルプ製造工程（前工程の未さらしケミグランドパルプ製造工程を含む。）又はさらしセミケミカルパルプ製造工程（前工程の未さらしセミケミカルパルプ製造工程を含む。）に係るもの		80	80	80	80	80	80
81	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で未さらしクラフトパルプ製造工程に係るもの（次項に掲げるものを除く。）		60	50	40	60	50	40
82	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でさらしクラフトパルプ製造工程（前工程の未さらしクラフトパルプ製造工程を含む。）に係るもの		80	70	60	80	70	60
83	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で古紙を原料とするパルプ製造工程に係るもの（次項に掲げるものを除く。）		60	60	50	60	60	50
84	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で古紙を原料とし脱インキ又は漂白を行うパルプ製造工程（前工程の離解工程を含む。）に係るもの		90	90	80	90	90	80
85	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で木材又は古紙以外のものを原料とするパルプ製造工程に係るもの		100	100	70	100	100	70
86	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でグランドパルプ、リファイナークラフトパルプ又はサーモメカニカルパルプを主原料とする洋紙製造工程（前工程のグランドパルプ、リファイナークラフトパルプ又はサーモメカニカルパルプ製造工程を有するものに限る。）に係るもの		50	40	40	50	40	40
87	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で洋紙製造工程に係るもの（前項に掲げるものを除く。）		30	20	20	30	20	20
88	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で板紙製造工程に係るもの		40	40	40	40	40	40
89	機械すき和紙製造業		60	60	60	60	60	60
90	手すき和紙製造業		90	90	80	90	90	80
91	塗工紙製造業		20	20	20	20	20	20
92	段ボール製造業		30	30	15	30	30	15
93	重包装紙袋製造業		70	70	70	70	70	70

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値（案）

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新（第8次）			旧（第7次）		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
94	セロファン製造業		30	30	15	30	30	15
95	乾式法による繊維板製造業		40	40	40	40	40	40
96	繊維板製造業（前項に掲げるものを除く。）		80	80	60	80	80	60
97	パルプ製造業、紙製造業又は紙加工品製造業（整理番号76の項から前項までに掲げるものを除く。）		25	25	25	25	25	25
100	印刷業（新聞その他の出版物を印刷するものを含む。）		50	50	50	50	50	50
101	製版業		50	50	50	50	50	50
102	窒素質・りん酸質肥料製造業		30	30	30	30	30	30
103	複合肥料製造業		30	30	30	30	30	30
104	化学肥料製造業（前2項に掲げるものを除く。）		30	30	30	30	30	30
105	ソーダ工業		20	20	20	20	20	20
106	電炉工業		20	20	20	20	20	20
107	A 無機顔料製造業		20	20	20	20	20	20
	B 無機顔料製造業（黄鉛製造工程を有するもの）		60	60	50	60	60	50
108	A 無機化学工業製品製造業（整理番号105の項から前項までに掲げるものを除く。）		20	20	20	20	20	20
	B 無機化学工業製品製造業（硫化鉄鉱を原料とする酸化鉄（顔料を除く。）製造工程に係るもの）		40	40	40	40	40	40
	C 無機化学工業製品製造業（希硫酸による二酸化硫黄の洗浄工程を有する硫酸製造工程に係るもの）		50	50	50	50	50	50
109	A 石油化学系基礎製品製造業で脂肪族系中間物製造工程に係るもの		60	60	40	60	60	40
	B 石油化学系基礎製品製造業で脂肪族系中間物製造工程（青酸誘導品含有排水を排出する工程）に係るもの		150	150	150	150	150	150
	C 石油化学系基礎製品製造業で脂肪族系中間物製造工程（塩素化合物触媒を用いたアセトン又はアセトアルデヒドの製造工程）に係るもの		100	80	80	100	80	80
	D 石油化学系基礎製品製造業で脂肪族系中間物製造工程に係るもの（エピクロロヒドリン製造工程）に係るもの		140	130	130	140	130	130
110	A 石油化学系基礎製品製造業で環式中間物・合成染料・有機顔料製造工程に係るもの		50	50	30	50	50	30
	B 石油化学系基礎製品製造業で環式中間物・合成染料・有機顔料製造工程（合成染料又は合成染料中間物の製造工程）に係るもの		190	190	180	190	190	180

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値(案)

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新(第8次)			旧(第7次)		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
111	A	石油化学系基礎製品製造業でプラスチック製造工程に係るもの	30	30	30	30	30	30
	B	石油化学系基礎製品製造業でプラスチック製造工程(メチルメタクリレート樹脂又はアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合樹脂の製造工程)に係るもの	70	70	70	70	70	70
112	A	石油化学系基礎製品製造業で合成ゴム製造工程に係るもの	40	40	40	40	40	40
	B	石油化学系基礎製品製造業で合成ゴム製造工程(乳化重合法による合成ゴム製造工程)に係るもの	60	60	50	60	60	50
	C	石油化学系基礎製品製造業で合成ゴム製造工程(クロロプレンゴム製造工程)に係るもの	130	130	130	130	130	130
113	A	石油化学系基礎製品製造業で有機化学工業製品製造工程(脂肪族系中間物製造工程、環式中間物・合成染料・有機顔料製造工程、プラスチック製造工程及び合成ゴム製造工程を除く。)に係るもの	50	50	50	50	50	50
	B	石油化学系基礎製品製造業で有機化学工業製品製造工程(有機ゴム薬品製造工程)に係るもの	270	260	260	270	260	260
	C	石油化学系基礎製品製造業で有機化学工業製品製造工程(有機農薬原体製造工程)に係るもの	180	180	160	180	180	160
114		石油化学系基礎製品製造業(整理番号109の項から前項までに掲げるものを除く。)	60	50	40	60	50	40
115	A	脂肪族系中間物製造業	60	60	50	60	60	50
	B	脂肪族系中間物製造業(青酸誘導品含有排水を排出する工程に係るもの)	210	210	190	210	210	190
	C	脂肪族系中間物製造業(塩素化合物触媒を用いたアセトン又はアセトアルデヒドの製造工程に係るもの)	110	80	80	110	80	80
	D	脂肪族系中間物製造業(エピクロルヒドリン製造工程に係るもの)	140	130	130	140	130	130
116		メタン誘導品製造業	30	30	20	30	30	20
117		発酵工業	120	110	110	120	110	110
118		ヨーグルタル製品製造業	120	120	120	120	120	120
119	A	環式中間物・合成染料・有機顔料製造業	50	50	30	50	50	30
	B	環式中間物・合成染料・有機顔料製造業(合成染料又は合成染料中間物の製造工程に係るもの)	190	190	190	190	190	190
120	A	プラスチック製造業	30	30	20	30	30	20
	B	プラスチック製造業(メチルメタクリレート樹脂又はアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合樹脂の製造工程に係るもの)	70	60	50	70	60	50
	C	プラスチック製造業(硝酸セルロース又は酢酸セルロースの製造工程に係るもの)	60	60	50	60	60	50

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値(案)

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新(第8次)			旧(第7次)		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
121	A	合成ゴム製造業	40	40	40	40	40	40
	B	合成ゴム製造業(乳化重合法による合成ゴム製造工程に係るもの)	70	70	70	70	70	70
	C	合成ゴム製造業(クロロプレンゴム製造工程に係るもの)	130	130	130	130	130	130
122	A	有機化学工業製品製造業(整理番号109の項から前項までに掲げるものを除く。)	50	50	50	50	50	50
	B	有機化学工業製品製造業(有機ゴム薬品製造工程に係るもの)	150	150	150	150	150	150
	C	有機化学工業製品製造業(有機農薬原体製造工程に係るもの)	180	180	160	180	180	160
123		レーヨン・アセテート製造業のうちレーヨンの製造に係るもの	50	40	20	50	40	20
124		レーヨン・アセテート製造業のうちアセテートの製造に係るもの	30	30	30	30	30	30
125	A	合成繊維製造業	30	20	20	30	20	20
	B	合成繊維製造業(アクリル系繊維製造工程に係るもの)	60	40	30	60	40	30
126		脂肪酸・硬化油・グリセリン製造業	40	40	30	40	40	30
127		石けん・合成洗剤製造業	10	10	10	10	10	10
128		界面活性剤製造業(前項に掲げるものを除く。)	40	40	40	40	40	40
129		塗料製造業	40	40	40	40	40	40
130		印刷インキ製造業	40	40	30	40	40	30
131		医薬品原薬・製剤製造業(平成8年9月1日前的特定施設に係る量)	80	80	60 70	80	80	60 70
132		医薬品製剤製造業	40	30	30	40	30	30
133		生物学的製剤製造業	30	30	30	30	30	30
134		生薬・漢方製剤製造業	20	20	20	20	20	20
135		動物用医薬品製造業	60	60	50	60	60	50
136	A	火薬類製造業	20	20	20	20	20	20
	B	火薬類製造業(硝酸エステル又はニトロ化合物の製造工程に係るもの)	60	60	50	60	60	50
137		農薬製造業	30	30	20	30	30	20
138		合成香料製造業	120	110	110	120	110	110
139		香料製造業(前項に掲げるものを除く。)	30	30	20	30	30	20
140		化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品製造業	30	30	20	30	30	20
142		ゼラチン・接着剤製造業(にかわ製造業を含む。)	20	20	20	20	20	20
143		写真感光材料製造業	10	10	10	10	10	10
144		天然樹脂製品・木材化学製品製造業	40	40	40	40	40	40
145		イオン交換樹脂製造業	160	160	130	160	160	130
146		化学工業(整理番号102の項から前項までに掲げるものを除く。)	50	40	40	50	40	40
147	A	石油精製業	20	20	20	20	20	20
	B	石油精製業(潤滑油製造工程を有するもの)	30	30	30	30	30	30

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値(案)

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新(第8次)			旧(第7次)		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
148	A	潤滑油製造業(前項に掲げるものを除く。)	30	30	30	30	30	30
	B	潤滑油製造業(硫酸洗浄工程を有するもの)	40	40	40	40	40	40
149		コークス製造業	180	180	90	180	180	90
150		石油コークス製造業	70	70	50	70	70	50
151		自動車タイヤ・チューブ製造業	10	10	10	10	10	10
152		ゴム製品製造業でラテックス成型型洗浄工程に係るもの	60	40	40	60	40	40
153	A	ゴム製品製造業(前2項に掲げるものを除く。)	20	20	20	20	20	20
	B	ゴム製品製造業(曲がり管製造工程に係るもの)	50	40	40	50	40	40
154		なめしかわ製造業	100	100	100	100	100	100
155		毛皮製造業	50	50	50	50	50	50
156		板ガラス製造業	10	10	10	10	10	10
157		板ガラス加工業	10	10	10	10	10	10
158		ガラス製加工素材製造業	10	10	10	10	10	10
159		ガラス容器製造業	10	10	10	10	10	10
160		理化学用・医療用ガラス器具製造業	10	10	10	10	10	10
161		卓上用・ちゅう房用ガラス器具製造業	10	10	10	10	10	10
162		ガラス繊維(長繊維に限る。）・同製品製造業	50	50	50	50	50	50
163		ガラス繊維・同製品製造業(前項に掲げるものを除く。)	40	30	30	40	30	30
164		ガラス・同製品製造業(整理番号156の項から前項までに掲げるものを除く。)	10	10	10	10	10	10
165		生コンクリート製造業	10	10	10	10	10	10
166		コンクリート製品製造業	10	10	10	10	10	10
167		セメント製品製造業(前2項に掲げるものを除く。)	10	10	10	10	10	10
168		黒鉛電極製造業	20	20	20	20	20	20
169		碎石製造業	20	20	20	20	20	20
170		鉱物・土石粉碎等処理業	20	20	20	20	20	20
172		うわ薬製造業	20	20	20	20	20	20
173	A	高炉による製鉄業	10	10	10	10	10	10
	B	高炉による製鉄業(コークス炉を有するもの)	40	30	30	40	30	30
175		フェロアロイ製造業	20	20	20	20	20	20
176		高炉によらない製鉄業(前項に掲げるものを除く。)	10	10	10	10	10	10
178		製鋼・製鋼圧延業(転炉(単独転炉を含む。))又は電気炉(単独電気炉を含む。))によるものに限る。)	20	20	20	20	20	20
179		熱間圧延業(整理番号182の項及び同183の項に掲げるものを除く。)	20	20	20	20	20	20
180		冷間圧延業(整理番号182の項及び同183の項に掲げるものを除く。)	20	20	20	20	20	20
181		冷間ロール成型形鋼製造業	20	20	20	20	20	20
182		鋼管製造業	20	20	20	20	20	20
183		伸鉄業	10	10	10	10	10	10
184		磨棒鋼製造業	10	10	10	10	10	10
185		引抜鋼管製造業	10	10	10	10	10	10

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値(案)

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新(第8次)			旧(第7次)		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
186	伸線業		10	10	10	10	10	10
187	ブリキ製造業		20	20	20	20	20	20
188	亜鉛鉄板製造業		20	20	20	20	20	20
189	めっき鋼管製造業		20	20	20	20	20	20
190	めっき鉄鋼線製造業		20	20	20	20	20	20
191	表面処理鋼材製造業(整理番号187の項から前項までに掲げるものを除く。)		10	10	10	10	10	10
192	鍛鋼製造業		10	10	10	10	10	10
193	鍛工品製造業		10	10	10	10	10	10
194	鋳鋼製造業		10	10	10	10	10	10
195	鋳鉄鋳物製造業(次項及び整理番号197の項に掲げるものを除く。)		10	10	10	10	10	10
196	鋳鉄管製造業		10	10	10	10	10	10
197	可鍛鋳鉄製造業		10	10	10	10	10	10
198	鉄粉製造業		10	10	10	10	10	10
199	鉄鋼業(整理番号173の項から前項までに掲げるものを除く。)		10	10	10	10	10	10
200	非鉄金属製造業		10	10	10	10	10	10
201	電気めっき業	イ	50	40	40	50	40	40
		ロ	40	40	40	40	40	40
202	金属製品製造業(前項に掲げるものを除く。)	イ	20	10	10	20	10	10
		ロ	10	10	10	10	10	10
203	一般機械器具製造業		20	10	10	20	10	10
204	電子回路製造業	イ	30	20	20	30	20	20
		ロ	20	20	20	20	20	20
205	電子部品・デバイス・電子回路製造業(前項に掲げるものを除く)、電気機械器具製造業又は情報通信機械器具製造業		10	10	10	10	10	10
206	輸送用機械器具製造業	イ	30	10	10	30	10	10
		ロ	20	10	10	20	10	10
207	精密機械器具製造業		10	10	10	10	10	10
208	ガス製造工場		20	20	20	20	20	20
209	下水道業		30	20	20	30	20	20
210	空瓶卸売業		30	20	20	30	20	20
211	共同調理場(学校給食法(昭和29年法律第160号)第5条の2に規定する施設をいう。)		40	30	30	40	30	30
212	弁当仕出屋又は弁当製造業		50	50	30	50	50	30
213	A 飲食店		50	40	30	50	40	30
	B 飲食店(平成18年2月1日以降に設置されるし尿浄化槽を使用するもの)		30	30	30	30	30	30
214	A 宿泊業	イ	60	50	30	60	50	30
		ロ	50	40	30	50	40	30
214	B 宿泊業(平成18年2月1日以降に設置されるし尿浄化槽を使用するもの)		30	30	30	30	30	30
215	リネンサプライ業		50	50	30	50	50	30
216	洗濯業(前項に掲げるものを除く。)		40	40	30	40	40	30
218	写真業(写真現像・焼付業を含む。)		60	60	60	60	60	60
219	自動車整備業		20	20	20	20	20	20
220	A 病院	イ	40	30	30	40	30	30
		ロ	30	30	30	30	30	30
220	B 病院(平成18年2月1日以降に設置されるし尿浄化槽を使用するもの)		30	30	30	30	30	30

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値(案)

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新(第8次)			旧(第7次)		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
221	A	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が5,001人以上のもの)	30	30	30	30	30	30
	B	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が5,000人以下501人以上のもの)	40	30	30	40	30	30
	C	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が5,000人以下501人以上のものであって、昭和55年建設省告示第1292号が適用される前のもの)	40	40	30	40	40	30
	D	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が501人以上のものであって、平成18年2月1日以降に設置されるもの)	30	30	30	30	30	30
	E	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が501人以上のものであって、平成18年2月1日以降に設置され、建築基準法施行令第32条第3項第2号に規定する技術上の基準を満たす構造のし尿浄化槽より高度にし尿を処理することができる方法によりし尿を処理するもの)	20	20	20	20	20	20
222	A	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が500人以下201人以上のものに限る。)	60	60	40	60	60	40
	B	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が500人以下201人以上のものであって、昭和55年建設省告示第1292号が適用される前のもの)	70	70	40	70	70	40
	C	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第32条第1項の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が500人以下201人以上のものであって、平成18年2月1日以降に設置されるもの)	30	30	30	30	30	30

別表1 化学的酸素要求量についての総量規制基準に係るC値（案）

※今回の見直しはありません

項番号	業種区分	特定排出水量の区分	新（第8次）			旧（第7次）		
			Cc, Cco	Cci	Ccj	Cc, Cco	Cci	Ccj
223	A	し尿処理業（日平均排水量が3,000m ³ 以上のものであって、し尿浄化槽に係るものを除く。）	40	30	20	40	30	20
	B	し尿処理業（日平均排水量が3,000m ³ 未満のものであって、し尿浄化槽に係るものを除く。）	40	40	30	40	40	30
	C	し尿処理業（嫌気性消化法、好気性消化法、湿式酸化法又は活性汚泥法に凝集処理を加えた方法より高度にし尿を処理することができる方法によりし尿を処理するものであってし尿浄化槽に係るものを除く。）	30	20	20	30	20	20
224	ごみ処理業		30	30	30	30	30	30
225	廃油処理業		20	20	20	20	20	20
226	産業廃棄物処理業（前項に掲げるものを除く。）		20	20	20	20	20	20
227	死亡獣畜取扱業		40	40	40	40	40	40
228	と畜場		40	40	40	40	40	40
229	中央卸売市場		30	20	20	30	20	20
230	地方卸売市場		30	30	30	30	30	30
231	試験研究機関（水質汚濁防止法施行規則第1条の2各号に掲げるものをいう。）		30	30	30	30	30	30
232	A	2の項から前項までに分類されないもの（生活系に係るもの）	70	40	40	70	40	40
	B	2の項から前項までに分類されないもの（生活系に係るものを除く。）	10	10	10	10	10	10

注 特定排出水量の欄の区分は、次のとおりとする。

イは、1事業場当たりの総特定排出水量が1日当たり400立方メートル未満の指定地域内事業場に適用する。

ロは、1事業場当たりの総特定排出水量が1日当たり400立方メートル以上の指定地域内事業場に適用する。